



高校生のための金融リテラシー講座





当てはまるものはありますか？

- 一人暮らしをしたい
- 海外留学したい
- やってみたい仕事がある
- お金を上手に貯めたい
- クレジットカードを持ちたい
- 「確実に儲かる方法がある」と聞いた



金融リテラシーの定義

『金融に関する健全な意思決定を行い、究極的には**金融面での個人の良い暮らし(well-being)**を達成するために必要な、金融に関する意識、知識、技術、態度及び行動の総体』

OECD/INFE「金融教育のための国家戦略に関するハイレベル原則」(2012/06)



金融リテラシーが高いと、

- ✓ 家計管理がしっかりしている
- ✓ 計画を立ててお金を準備しているので、やりたいことを実現しやすい
- ✓ 緊急時の備えがあるので、危機（自身のケガや病気、不景気による収入減など）に強い
- ✓ 詐欺や多重債務などの金融トラブルにあうことが少ない
- ✓ **経済的に自立し、より良い暮らしを送ることができる**



政府広報
消費者庁 消費者庁 消費者庁 消費者庁

×
東京ペンギンズ

新成人たちよ、
未来をつくれ。

18歳解禁
DON'T BE AFRAID!

2022年4月。成年年齢は、18歳になる。

成年年齢を20歳から18歳に引き下げること等を内容とした
「民法の一部を改正する法律」が2022年4月1日から施行されます。

変わること	変わらないこと	注意してほしいこと
親の同意を得ずに、様々な契約が一人でできるようになります。	飲酒・喫煙・競馬等の投票券の購入の年齢制限は、20歳のままです。	一人で契約を結べるようになる反面、個人で契約を守る責任が生じます。消費者トラブルにはくれぐれもご注意ください。

政府広報 成年年齢引き下げ

成年年齢引下げ

18歳になると、できるようになること：

- 親の同意がなくても契約できる
 - 携帯電話を契約する
 - 一人暮らしの部屋を借りる
 - クレジットカードをつくる
 - ローンを組む など

20歳にならないと、できないこと：

- 飲酒する
- 喫煙する
- 競馬等の投票券を購入する など



本講座の目的

- 自分の将来の暮らし方について考える
(ライフプランニング)
- そのために必要なお金と、準備の方法
(家計管理・資産形成など) を学ぶ
- 金融トラブルにあわないよう、手口や対処法
を知る



目次

- 1 家計管理とライフプランニング
～働いて「稼ぐ」とことと将来設計について
- 2 「使う」
- 3 「備える」～ 社会保険制度と民間保険
- 4 「貯める・増やす」～ 資産形成
- 5 「借りる」
- 6 金融トラブル
- 7 まとめ